

令和4年度

経済学演習履修要項

- 担任者 中川 竜一
- テーマ ファイナンス論を通じて日本の経済問題を考える。
- 指導概要

このゼミでは「ファイナンス論」と呼ばれる経済学の中で「企業金融論」という分野を学習する。企業金融論を学習すると、諸君が将来、会社の中で直面するおカネの問題を解決することができる。たとえば「わが社はどうすれば銀行からお金を借りられるのか」、「わが社はいつ株式を発行すべきか」、逆に「どんな企業の株に投資すれば儲かるのか」、「どの企業にお金を貸し付ければ地元経済を活気づけられるのか」である。

諸君は「そんなこと、働き始めれば誰でも分かること」と思うかも知れない。ところが、企業金融の知識は日本企業に定着しておらず、おカネに関する大人たちの失敗を我々は毎日、耳にしている。そう考えると、企業金融論の学習は、これから社会に出て行く諸君（経済学部生の4人に1人は金融・保険業に就職）に独自の才能を与えてくれる。

本ゼミは、余裕をもった活動をおこなうため、新ゼミ生が決まり次第、ゼミ活動をスタートさせる。2年次秋学期には「金融経済論2」を受講しながら、企業金融の基礎を学習する。また、証券取引所などを見学する。3年次春学期には、興味のある経済問題を選んでグループ研究し、問題解決能力を養う。秋学期には、研究成果をプレゼン大会で発表し、自己表現能力を養う。春休みには、研究成果を卒業論文にまとめ、文章作成能力を養う。これらの活動を3年次終了までに完了し、その実績をもって就職活動に臨んでもらう。就活完了後は、大学時代にしかできない活動を自分で選び、励んでもらう（例：コロナ禍以前は、米国、豪州、イタリアなどに留学）。

ゼミは学生主導で進める。「金融に強い興味を持っている学生」、「真剣な活動を行うゼミに入りたい学生」、「グループ活動やディスカッションが好きな (or 得意な or できるようにになりたい) 学生」、「大学時代に勉学面で何か一つ成し遂げたいと思っている学生」にこのゼミを薦める。

- **中川ゼミに少しでも興味の湧いた諸君への要望**

- ◇ 今すぐ、中川にメールを送り、詳細なゼミ情報を受け取って欲しい (ryu-naka@kansai-u.ac.jp)。
 - ✓ ゼミ募集の情報（ゼミ説明会、選考方法など）を随時、メールで伝達する。
 - 中川ゼミに興味が無くなれば、中川からのメールを無視してよい。
 - ✓ メールを送った諸君を優先的に選考する。
- ◇ 中川に遠慮無くアクセスして、直接、活動内容を確認して欲しい（誤情報を防ぐため）。
- ◇ ゼミ活動の詳細・実績は、中川 HP (<http://www2.itc.kansai-u.ac.jp/~ryu-naka/>) で公開中。

- 応募者への要望

- ◇ 「金融経済論2」を履修すること。
- ◇ 興味があれば「経済学特別演習（入門ゼミ）[会社の中でのお金の使い方を学ぶ]」の履修を薦める。
ただし、ゼミ募集の選考には一切、影響しない。

- 応募者への課題

- ◇ メールで知らせる。

○ 参考文献 (or 教科書)

◇ 石野雄一『道具としてのファイナンス』日本実業出版社、2005年。

◇ 石野雄一『ビジネス力養成講義ファイナンス』日本経済新聞出版、2021年。